

<p>本時の目標</p>	<p>・ 既習の長方形や正方形の求積方法を活用して、複合図形の面積の求め方を理解し、図や式などを使って説明することができる。</p>
<p>視点1 ガイド学習・見通し</p>	<p>ガイド学習(学びの過程)を把握し、自分たちで進めることができる。</p>
<p>視点2 図で論理的に説明する活動</p>	<p>根拠を持ち、筋道を立てて相手に伝える実際の様子。</p>
<p>視点3 友達との考えを比較する</p>	<p>互いの考えを比較し、多様な考えを学ぶ。</p>
<p>見通す</p>	<div data-bbox="702 616 1109 862" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>視点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手引きをもとに、子供たち自身でガイド学習の経験を積んでいく。 </div> <div data-bbox="1125 616 1492 806" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="223 817 686 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>でこぼこした図形の面積は、どのようにして求めたらよいのだろうか。</p> </div> <p>2 学習をつかむ。</p>
<p>調べる</p>	<p>4 解決方法を発表し、話し合う。</p> <p>(1) 自分の考えを説明する。</p> <p>(2) 考えを整理・分類し、比較する。</p> <p>(3) 全体で解決方法を考える。</p> <div data-bbox="702 1075 1125 1422" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>視点2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考の過程が分かるように、面積を求めるために用いた式や言葉、補助線などをホワイトボードに記入 </div> <div data-bbox="1125 1097 1492 1332" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="223 1422 686 1702" style="text-align: left;">  <p>5 子音のまとめをする。</p> </div>
<p>まとめる</p>	<div data-bbox="702 1433 1492 1657" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>視点3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練り上げの場で遠隔合同授業を取り入れ、画面を共有しながら図を用いて互いの考えを論理的に説明する活動を行った。 </div> <div data-bbox="223 1747 662 1915" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>長方形の面積の公式を使って、求めることができる。</p> </div> <p>6 練習問題を解く。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p> <div data-bbox="702 1668 1492 1814" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>視点2</p> <p>「タグリ プは田たマナナには、ビノナ共通上ムガフム、レ明、目</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「長方形にしたら求められる。」 ・ 「長方形の面積の公式を使っている。」

算数 4年 「面積」

また、解決方法と等しい方法の発見や、異なる方法の発見も多かった。

成果

視点1 学習に見通しを持つことで、主体性をもって進んで学習に取り組むようになってきた。

視点2 普段の授業では、多様な考えに触れる機会が少ない。遠隔合同授業を取り入れて、他校の友達の考えや考え方が似ていたり、似ていても方法が違ったりしているということへの気付きから、新たな視点で自分の考えを振り返り、課題解決に向けて考えを深めることができた。

視点3 始めは相手に伝わっているか確かめずに、小さい声で一方向的に早口で棒読みする発表になってしまったが、相手の発表を聞く中で、伝え方の工夫をしないと、伝わりにくいということに初めて気付くことができた。友達と多様な求積方法を考え出し合ったことで、学び合う楽しさや意義、充実感を味わうことができたようだ。

課題

学び合いを活性化させる発問の内容、子供同士の考えのつなぎ方などを検討する必要がある。